



笠懸小学校は今年も思いやりも日本一を目指します！

やさしく
たたくしまし
たたくしまし



笠懸小学校

学校だより No.12 2022.7.15

<https://midori-school.ed.jp/kasasho/>

先生方へのインタビュー③(理科編)

今回は、笠小の理科専科(理科専門に指導する先生)である近藤裕先生のインタビューをお知らせします。近藤先生は今年度、3年生と5,6年生の理科を担当しています。実験や観察を大切にしたい楽しい授業を行うために、教材や教具を入念に準備されています。そんな近藤先生の理科に対する思いをお話ししてもらいました。自然や事物の現象から疑問などを発見し、どのように解決してよいかを考えられる好奇心旺盛な笠小の児童が多くなるように・・・という願いを込めてお伝えします。

Q:理科を学習する楽しさを教えてください。

A:身近なところで感じる「なぜ?」「どうして?」について、実験や観察を通して明らかにしていけるところが、理科の楽しさだと思います。

Q:理科を勉強してきてよかったことや理科の授業をしてきてよかったことを教えてください。

A:わたし自身が子どもの頃、理科が大好きで理科の教師になりました。新米教師の頃から現在に至るまで、子どもたちと一緒に実験や観察に取り組み、理科の楽しさを伝えるチャンスが続けさせてもらっていることがよかったことです。今でも初めての経験や発見があり、自分自身とても楽しいです!!

Q:夏休みの学習で取り組んでほしいことはありますか。

A:時間がいつもよりたっぷりあるので、自分の興味をもったこと、不思議に思ったことなどを調べてみたいことを決めて、時間をかけて追究してみたいです。

Q:笠小の皆さんへのメッセージ

A:スポーツが好き、音楽が好き、絵を描くことが好きといった人は、その好きなことに熱中して練習したり、そのことに集中して取り組んだりすると思います。理科や科学が好きだという人も、自分の興味をもったことに熱中してほしいと思います。例えば、アリに興味をもった人は、アリの巣をずっと観察してみる。そこから「なぜ?」「どうして?」といった疑問がいろいろと見えてきます。星のことに興味があったら、実際の空を眺めてみる。星座を見つけていると、流れ星が流れたり、人工衛星が見えたり、わくわくすることに出会えるかもしれません。「なぜ?」「どうして?」ということに興味をもって熱中すること、それが大事です。そんな人が増えてほしいです!



熱心に教材を作る近藤先生

遠隔交流活動にチャレンジ!



小さいですが、テレビ画面にはあずま小中学校の児童の姿が映っています

先日、本校2年生が、みどり市立あずま小中学校(今年度から義務教育学校として開校)と遠隔オンライン交流を行いました。あずま小中学校の児童生徒は少人数のため、授業の中で多様な考えに触れたり、積極的にコミュニケーションしたりする機会が少ないので、本校が協力することになりました。このことは、本校の児童にもメリットのある活動であると考え、実現させました。子どもたちは、とても元気に交流することができました。今回は、朝活動での短時間での交流でしたが、今後は合同授業へ発展させる予定です。また、近い将来には、みどり市の中学校海外派遣

事業で訪問しているオーストラリアの小学校とも交流する機会を設け、学習した英語を使うことを通して、英語への自信をもたせたり、抵抗感を減らしたりする活動も予定しています。

子どもたちの活躍を紹介します（表彰を行いました）

7月12日（火）の昼休みに表彰を行いました。表彰の対象は、「歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクール」です。ゴールデンウィークの期間を使って、取り組んだ作品です。自分から進んで取り組んだことは、結果に関わらずたいへん立派なことです。また、自分の好きなことや得意なことを伸ばそうとしてチャレンジしてくれた児童や後押しいただいたご家庭もあったと思います。自分やお子さんの長所を伸ばそうとする取組は、今後大きく伸びていく（伸ばしていく）ために大切だと思います。その中で入賞したみなさん、ほんとうにおめでとうございます。



入賞した皆さんと作品

学年	組	名前	表彰内容	成績
3	3	水澤 一生	歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクール図画の部	1等
2	2	下田 夏子	歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクール図画の部	2等
2	1	高鳥 沙月	歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクール図画の部	2等
3	1	齋藤 心結	歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクール図画の部	3等
3	3	小熊 里奈	歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクール図画の部	3等
3	2	星野 瑠那	歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクール図画の部	佳作
4	3	高橋 瑠	歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクールポスターの部	3等
6	3	藤生 悠人	歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクールポスターの部	佳作

あいさつ運動を実施しています（6年生ありがとう!）



あいさつ運動に取り組む6年生

先日、地域の方々をお招きして、お話を伺う機会がありました。この中で、「毎朝出会う小学生が、とてもよくあいさつしてくれて、すがすがしい気持ちになります。」と話してくださった方がいました。

学校や家族だけではなく、地域の方に対して進んであいさつすることができれば素晴らしいことです。笠小の皆さんがそのような人になってほしいと思います。

現在、学校では、6年生が中心になってあいさつ運動が実施されています。登校してきた一人一人に元気よくあいさつし、それに応じて元気よくあいさつする姿が見られました。実際に、あいさつ運動を行った6年生に活動を振り返ってもらいました。

Q: あいさつ運動をして、どうでしたか?

A: 楽しかったです。でも、すこし嫌だったこともありました。

Q: 楽しかったのはどんなところですか?

A: あいさつを返してくれたことと、笑顔になってくれた人もいたことです。仲良くなれた気がしました。

Q: 嫌だったのは、どんなところですか?

A: あいさつをしても返してくれない人がいたことです。声が聞こえなかったのかも知れないけど・・・。

Q: 返ってこない人はたくさんいましたか?

A: いいえ。多くはありませんでした。

Q: あいさつ運動後の今の気持ちはどうですか?

A: コミュニケーションって大事だなあと感じました。

左記のように「すべてよくできた」とはいかず、インタビューした6年生は、皆同じ課題を感じたようです。しかし、課題をもてたことは重要なことだと思います。今後、課題の解決に向け、クラスなどで話し合い、作戦を考えて実行していくことを期待します。なぜなら、よりよい生活を目指した子どもたちの自治的活動で、成果を感じることができれば、その価値は非常に高く、また、一人一人の心の中にあいさつを通したコミュニケーションの大切さがしっかりと心に残ると思うからです。